

あくね 市議会だより

今号の主な内容

非課税世帯給付金等の補正予算を可決
地域猫活動に対する支援に関する請願を採択
少人数学級等の改善に関する陳情を採択
各議員が市政を問う～一般質問～



二次元コード

左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると市議会のホームページにリンクします。

阿久根市議会

検索

ご存じでしたか
大川島からの
隠れ絶景

令和5年8月16日発行 (No.221)



令和5年度一般会計予算の総額は、補正予算（第3号）の可決により

127億2485万円

となりました。

※このほか、国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についても可決しました。

新規

住民税非課税世帯への価格
高騰重点支援給付金

1億2295万円

国の新型コロナウイルス感染症対策対応地方創生臨時交付金を活用し、エネルギー、食料品価格等の物価高騰の影響を受けた非課税世帯等に対し給付。

新規

書かない窓口サービス

1億2237万円

国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、マイナンバーカードの利活用による市民サービスの向上のため、次のサービスを導入予定。

- ・書かない窓口サービス
- ・申請ナビサービス
- ・新たな電子申請システム
- ・デジタル通知サービス

マイナンバーカードで本人認証を行い、市が保有する本人情報を利用することで、申請手続の負担を軽減。

電気・ガス・食料品等価格高騰の影響いつまで続く
非課税世帯等への給付金を含む一般会計補正予算を可決

本会議の様子は
こちらから↓



新規**学校給食費負担軽減対策事業****2172万円**

学校等の給食費の原材料費の価格高騰分について、利用者の負担増とならないよう補助。
 ※昨年度と同じ内容で、本年度2学期から実施予定。

新規**保育所等給食支援事業****564万円**

保育所等の給食費の原材料費の価格高騰分について、利用者の負担増とならないよう補助。

新規**肥料・農薬価格高騰対策支援事業****1800万円**

肥料・農薬の価格が高騰しているため、コスト上昇分の一部を支援し、農業経営への影響を緩和。

新規**漁業用燃油価格高騰対策支援事業****1100万円**

漁業用燃油の価格が高騰しているため、コスト上昇分の一部を支援し、漁業経営への影響を緩和。

請願

- 動物保護活動としての地域猫活動に対する公的支援に関する請願（「地域猫活動に対する支援に関する請願」と表記）

審査：総務文教委員会 趣旨採択とすべき（P 5～）

本会議での討論（P 8） 本会議採決 採択（P 16）

**陳情**

- 少人数学級・教職員定数の改善並びに義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る国の関係機関への意見書を求める陳情（「少人数学級等の改善に関する陳情」と表記）

審査：総務文教委員会 採択とすべき（P 6）

本会議採決 採択（P 16）



- 海の家事業活動時間の特別延長の覚書締結に関する陳情（「海の家事業活動時間に関する陳情」と表記）

審査：産業厚生委員会 不採択とすべき（P 6～）

本会議での討論（P 9） 本会議採決 不採択（P 16）

**人事****農業委員会の委員の選任に同意しました。**

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| ・中野 和徳 氏(再) | ・久保 秀幸 氏(再) | ・樫八重 玲子 氏(再) |
| ・牛堀 佐喜子 氏(新) | ・尻無濱 俊幸 氏(再) | ・園田 勇一 氏(再) |
| ・石原 勇一郎 氏(再) | ・白濱 和利 氏(再) | ・高原 熊夫 氏(再) |
| ・馬見新 貢 氏(新) | ・石坂 務 氏(再) | ・田嶋 輝男 氏(再) |

〇委員会とは

市長または議員が定例会や臨時会に提出した議案等は、最終的には本会議で決められますが、地方自治体の事務は年々増加、複雑化し、内容が幅広い分野にわたることから、本会議における最終的な判断を下す前に、きめ細かに案件を審査・調査する機関として、分野、予算、決算、特別なテーマごとに、数名の議員を委員とする委員会を設置し、審議・調査しています。

委員会で審査や調査した結果は、本会議で委員長から報告されます。

本会議では、その結果を参考に議論が行われ、最終的な結果が決まります。

阿久根市議会では、総務文教委員会（7名）、産業厚生委員会（7名）、予算委員会（議長を除く全員）、広報広聴委員会（6名（総務文教から3名・産業厚生から3名））の4つの常任委員会があります。

そのほか、決算特別委員会など必要に応じて特別委員会も設置されます。

また、これらとは別に、議会の運営方法などを協議する機関として、議会運営委員会（6名）も設置されています。



予算委員会 白石 純一委員長

一般会計補正
予算（第3号）



書かない窓口システム

委員 マイナンバーカードのシステムに市民の個人情報が入っている。マイナンバーカードは企業にもデータが送られるが、情報系列が一本化し、市役所が保有する市民の個人情報が入っている。リンクされているのか。

総務課長 個人情報がマイナンバーと紐づくが、不正アクセスによって情報が漏れる式に漏れいする事象は起きないと考えている。

非課税世帯支援給付金

委員 3万円の支給はいくらか。

福祉課長 7月中を予定。

肥料・農薬価格高騰対策

委員 水田の肥料代の去年と今年の比較は。

農政課長 一般的な肥料の単価で、令和4年6月が2,575円、12月が4,290円と高騰した。

特産品等流通促進

委員 お中元時期には行わないのか。

商工観光課長 検討した結果、お歳暮時期に行う。

市営住宅の改修

委員 改修対象戸数は。

都市建設課長 春畑住宅の給排水設備工事で4棟15戸、外部改修工事で1棟4戸。ふれあい住宅外壁改修工事で2棟24戸。

学校用地購入

委員 土地の状況と購入後の使用方法は。

教育総務課長 危険家屋がある西目小の隣接地を

更地になった後に購入。用途は学校と協議する。

偉人マンガ製作

委員 誰を載せるのか。

スポーツ推進課長 純国産民間航空機の機長となり、世界一周を成功させた、東京国際空港の初代空港長で本市山下出身の中尾純利さんである。

テニスコート改修

委員 事業内容は。

スポーツ推進課長 6面のうち4面ある土のコートを全て人工芝に変える。



土(奥)から人工芝(手前)に変わるテニスコート

○地域猫活動に対する支援に関する請願

請願第1号



紹介議員の説明の要旨

地域猫活動とは、地域の野良猫の不妊去勢手術を行った後、餌のやり方やふんの始末などのルールを定め、地域で適切に管理してトラブルを減らし、飼い主のいない猫を減らしていくこと。

不妊去勢手術した猫は、耳の先端をV字にカットし「さくらねこ」として未実施猫と区分できるようなっている。

阿久根市では、さくらねこ無料不妊手術事業を行っているが、協力動物病院は一番近くて日置市の病院であり、1回で5匹しか対応できないので

活動が広がらない。活動を広げるために、一般の病院で行う1〜3万円かかる不妊去勢手術に対する補助をお願いする。現在、阿久根市には地域猫活動を行う団体が2つしかないで、ボランティアを募集していただきたい。

紹介議員への主な質疑

委員 行政では殺処分が行われているということだが、市民が猫で困っているときには、市役所に行くとすれば何とかしてくれると思ってしまうのか。
紹介議員 犬に関しては引き取るが、猫に関しては恐らく引き取らない。

委員 市内に2つの活動団体があると説明されたが、請願者以外はどこか。
紹介議員 大丸町でカフェをされていた方の団体である。

委員 さくらねこの事業とは別に支援が欲しいということがあるか。
紹介議員 枕崎市は、さくらねこの事業とは別に

雄の去勢に5,000円、雌の不妊に1万円、飼育管理費として2匹で年額上限1万円を出している。同様に支援をいただきたい。

参考人（請願者）の説明の要旨

地域猫活動には時間と経費がかかるが、目立たない活動でボランティアが少ないから支援が必要。野良猫の数が多いため、音やかや交尾の鳴き声が騒音となる。公共施設や私有地の汚染や悪臭が発生する。猫が感染症等を持っている場合、人間やほかの動物に感染するリスクが高まる。猫が増え過ぎると食料や住居が不足し、猫自身の健康や福祉が損なわれる。

これらの問題を解決するためには野良猫の数を適正な水準にすることが必要であり、それには去勢手術が最も効果的な方法である。去勢手術により繁殖能力を失った猫は、鳴き声やけんかを減らし

健やかに暮らせるようになる。私たちは、感染症等の予防も行っている。しかし、去勢手術費用も1匹当たり1〜2万円ほどかかる。もともと人間が捨てた猫が野良猫になったのだから人間が責任をとるべきである。

参考人への主な質疑

委員 猫の捕獲には、地域の方からの依頼があつて行くのか。
請願者 多頭飼育が崩壊し近隣から苦情がきて行政と一緒にやっているが、捕獲器が必要であることを実感している。

委員 紹介議員からは、市内の活動団体は2団体と説明されたが。
請願者 3団体あるが、栄町の団体は最初活動した後、休止されている。

委員 公費を投入すると行政の周知も重要になってくる。活動の必要性をどのように考えるか。
請願者 行政と協力し、少しずつ広めていく。

所管課（市民環境課）の現状説明の要旨

こういう地味で金のかかるものは、ボランティアする方々がなかなかいないのが現状である。
委員 社会の情勢が、動物も大切だという価値観が出てきて、こういう活動を推進していければと思う。仮に請願が採択され、行政の後押しが可能になった場合の参考人の意欲、決意を聞きたい。

請願者 人間は動物と共存しながら生きてきた。仕事をしながら、できる範囲で活動をやっている。頑張っている団体のためにも、サポートしながらやるしかない。

近年、市内において飼い主のいない猫や猫の多頭飼育に関する苦情が多く寄せられ、また、無責任な餌やり等による無秩序な繁殖を原因とする生活環境被害を招いている。その対策として、令和4年11月以降、公益財団法人どうぶつ基金のさくらねこ無料不妊手術事業（行政枠）を活用し、生活環境被害の軽減及び猫の引取り数（殺処分）の減少を図ることに努めている。この事業は、飼い主のいない猫に対し、さくらねこTNR（T、トラップ、捕獲する。N、ニュートナー、不妊去勢手術を行う。R、リターン元の場合に戻す。その印として耳先をさくらの花びらのようにV字カットする）に取り組むボランティア団体にさくらねこ無料不妊手術チケット（行政枠）を交付するものである。

このチケットを使用す

る場合、寄附金、謝礼、捕獲手間費、人件費、医療費、交通費等の金銭等を受け取ることが禁じられている。

不妊手術の実績は、令和4年度は89匹、令和5年度は5月末現在で34匹である。

所管課への主な質疑

委員 どうぶつ基金はどのような団体か。

所管課 兵庫県にある公益財団法人である。犬や猫の不妊手術奨励事業等を実施しており、財源の多くは一般の方々の寄附で成り立っている。

委員 独自で助成している市町の状況を調べているか。

所管課 県は独自に地域猫の補助金を定めているがさくらねこの事業と併用できない。

鹿児島市、枕崎市、志布志市等も独自制度を行っている。また、出水市は、さくらねこの事業のほかに市内の病院利用を条件にした避妊手術の

事業を行っている。

委員 阿久根市で出水市と同様の事業は可能か。

所管課 協力病院がなくては成立しない事業であるが、ボランティアの意識を持って昼休みなどに対応していただく必要があり病院に負担がかかる。

委員 地域猫に関することを市民に周知しているのか。

所管課 さくらねこの事業はホームページに掲載しているが市報には載せていない。ボランティア団体の活動とのバランスを考えて周知している。

委員 請願者は、捕獲器を行政から借りることができればと言っていたが。

所管課 事業を始めてからそういう声を聞き、今は捕獲器を11基購入し、ボランティアに貸し付けている。

主な討議

委員 請願者を含め活動されている方は努力されているが、周知などまだ足りない部分、頑張っ

ほしい部分もあり、財源の確保もあるので、趣旨採択としたほうが良い。

委員 採択すれば、執行部に財源を確保させなければならぬ。県もきちんとならなければならぬ。

委員 請願者は、採択か不採択かのどちらかにということだが、すぐには決められない。趣旨採択としてこれから先のことを考えて行くべき。

委員 市全体で活動が増えていけばいいと思うが、猫の数、どの辺に集中しているかなどの実態が分かれば良いと思う。趣旨採択が良いと思う。

委員 支援団体はぎりぎりまで活動しており、今後もし運営は厳しいと思う。何らかの支援、補助をしないと苦労されると感じている。予算の問題などを考え、趣旨採択と思う。

委員 財源を考えれば趣旨採択が良い。団体としては相当苦労されていると初めて認識した。なにか対策を考えなくてはな

らない。

採決の結果、全委員一致により、趣旨採択すべきものと決した。



〇少人数学級等の改善に関する陳情

陳情第4号



主な意見

委員 今回の陳情は、毎年同様の陳情が上がってきている案件であり、去年と一昨年は採択、その前は趣旨採択とされている。趣旨採択としたときは、阿久根は既に30人前後の学級で行っているからという趣旨であり、採択としたときは、日本全国がそういう方向へ行くべきであろうという趣旨であった。

今回も採択で良いと思う。

採決の結果、全委員一致により採択すべきものと決した。

なお、この陳情を採択すべきものとしたことから、陳情において求めら

れている意見書の案を委員会として提案すること、を全委員一致により決定した。

産業厚生委員会
竹之内和満委員長

〇海の家の事業活動時間に関する陳情

陳情第5号



参考人（陳情者）の説明の要旨

昨年の議会で4者による覚書を締結することを含めて趣旨採択されたことと理解している。午後8時までの営業時間が守られなかったら、午後5時に戻すことを覚書に加えてもらうようお願いした。

また、脇本海岸の絶滅危惧種の保護活動自体が海岸保全活動であり、こ

のことが集落内の海岸近
接世帯の生活環境の保全
につながっていると判断
し、NPO法人と連名で
提出した。

**参考人（陳情者）への主
な質疑**

委員 営業時間を守らな
ければ午後5時に閉める
というのは厳しいのでは
ないか。

参考人 午後8時までの
営業でよいが、それを守
らなかったときは、条例
どおりの午後5時にして
いただきたい。

委員 海開き前に開催さ
れる関係者協議会の中で
意見のすり合わせなどの
話をしてはどうか。

参考人 意見を交換して、
午後8時に営業終了され、
お客を出していただける
ようであれば、集落とし
て了解したいと思う。

委員 ウミガメ等の自然
保護と海の家が共存して
いる事例はあるか。

補助者 屋久島は午後8
時から午前5時まで海岸
に入れない。それで観光

事業として成り立ってい
る。

委員 屋久島の永田浜に
は、海の家のような商業
施設はあるか。

補助者 ないと聞いてい
る。ただ海岸へ光が漏れ
ないように地域をあげて
やっている。

**参考人（海の家等の事業
者）の説明の要旨**

参考人 覚書の案をいた
だいたが、事業者側に課
せられた三つの義務につ
いて、一、海の家及びそ
の利用客が発する光を海
岸に漏らさない対策をと
るが、光を漏らさないこ
というのの営業しないこ
とと同等である。二、騒
音、バーベキューの煙な
ど近隣住民に不快感を招
かないこととあるが、何
をもって不快感と定義づ
けるのか理解に苦しむ。

三、開場終了時刻までに
海の家の利用客全員を脇
本海水浴場駐車場から退
出させることとあるが、
条例・規則に関係ないと
認識している。よって、

事業者側としては自由な
経済活動ができにくい状
況である。

海の家は条例制定前か
ら営業しているが、説明
がないまま条例が制定さ
れ施行されていることに
対して、昨年陳情した。
その結論を出していただ
きたい。

参考人 海の家の営業時
間を午後8時までにする
のはウミガメの保護のた
めと理解する。光の影響
などを考えると、海の家
の営業は夏季であるから
光の影響・ウミガメの成
育のことを考えても午後
8時までの営業で十分で
あると思う。

**参考人（海の家等の事業
者）への主な質疑**

委員 開場時間を午後8
時まで認めるといふ文書
はなかったのか。

参考人 条例ができてか
らの書面の取り交わしは
ないと記憶している。

委員 覚書について、市、
地区、海の家の三者が一
堂に会しての協議はあっ
たか。

参考人 三者での協議は
ないと記憶している。

委員 協議会を開催され
てきたと言われたが、覚
書案についての話をしな
かったのか。

参考人 毎年行われる協
議会は、海開
きや海水浴の
連絡調整等で
あり、覚書の
協議はなかつ
たと思う。

**所管課の現状
説明の要旨**

昨年度、市、
下村区、海の
家の2事業者

の間で調整を行ったが覚
書締結に至っていない。

今後、海の家事業者、区
長、NPO法人を含め関
係者協議を開催する中で
覚書締結の調整を行う予
定である。

所管課への主な質疑

委員 議会への条例説明
では開場時間を午後8時
までと説明したが、午後
8時は特例として午後5
時までになっているのは
おかしくないか。

商工観光課長 規則で時
間を定めている。議会審
査のなかでは午後8時ま
でと説明したが、規則の
庁内審査ではかの場所と
合わせることにし、ただ
し書きを設けた。しっか
りと説明しておくべきで
あった。

委員 覚書締結に向けて
どのような考えがあるか。
商工観光課長 市が主導
しての覚書を締結するの
が第一である。お互い理
解していただく形で進め
ていきたい。

委員 覚書締結に海の家

側が難色を示した理由は
何か。

商工観光課長 昨年の陳
情で規則改正を求めてお
り、覚書締結は現行の条
例規則を認めることにな
るため納得できないとい
う意向であり、覚書締結
に至らなかった。

委員 施行規則の開場時
間を午後8時までに変更
することは可能か。

商工観光課長 実情と合
う形で、脇本海水浴場の
開場時間は午後8時まで
に改正する方向で調整し
ていきたい。

市長への主な質疑

委員 市長が特に必要と
認めるとしたことを文章
等に残していないので混
乱が生じ、関係者の間に
感情的なしこりができて
いる状態のようである。

市長がリーダーシップを
とって直接働きかけて、
お互いの歩み寄りを促す
ことはできないか。

市長 これまでも海の家、
NPOの方々それぞれと
お話する機会があり、し



遠浅の白い砂浜が続く脇本海岸。海水浴や
海の家などの経済活動とウミガメやシロチ
ドリを守る自然保護活動の両立をどう図る
かが課題

本会議における討論

多くの賛否
活発に

てこなかったわけではなく、貴重な資源・環境に関する取り決めであるので、お互いの話し合いの中で、お互いの着地点を見つけて運用していただきたいと考えている。

主な討論

委員 自然環境の保護、観光振興は共存共栄していくべき。陳情趣旨の捉え方で考えるところが違うかと思う。趣旨採択が望ましい。

委員 陳情の趣旨に観光とかウミガメ保護の観点という言葉はあるが、そもそもその意図が非常に敵対的で覚書に対する考え方がなっていない。不採択とすべき。

委員 陳情項目の1項目めについては、今の時点では、開場時間の特例としている午後8時を守るために覚書を締結することに賛同するので採択すべき。

2項目めについては、こうした強制権はなく採択すべきでない。

主な討論

3項目めについては、当初の覚書は、市と事業者と区の三者で進んでおり加えるべきではない。したがって、1項目めだけを採択とする一部採択が適当。

委員 陳情は書いてあるそのままを読み取らなければいけないと思う。不採択でよい。

委員 総合的に考えた場合、自然保護の観点・観光の目玉の一つである脇本海水浴場は、双方が共存共栄していかなければならないと痛感している。その中において、覚書は締結していただきたい。

2番目・3番目については、別途、任意で覚書を締結することがあってよいと思う。一部採択が望ましい。



委員 覚書を締結することについては全く異論がない。市は、特例として午後8時までを原則として午後8時までに変更すると答弁したが、まだ確定していないので、あくまでも特例として午後8時までということであり、この条件で覚書締結に賛成する。1項目めのみ的一部採択がふさわしい。

委員 覚書の締結は非常に大事である。言った言わないになると感情論になり、うまくできることもできなくなる。双方の着地点を見出し、覚書を締結していただきたい。一番のみ採択したい。

委員 覚書が結ばれるのはいいことだが、契約書ほどの効果はないと思う。書いてある文章では不採択とすべきだと思っている。

採決の結果、賛成の委員がおらず不採択とすべきものと決した。

令和5年度一般会計補正予算(第3号)

反対 竹原 信一議員

デジタル田園都市国家構想交付金は、市民の利便性という説明であるが、市役所側から見れば、マインナーによる市民の一括管理、監視を可能にするものである。システムトラブルは、場合によっては市民に取り返しつかない悪影響を及ぼす。

阿久根市役所も国に準じて一切の責任を取らないのは確実。問題意識が全くない。大変危険である。

地域猫活動に対する支援に関する請願

本件は「趣旨採択とすべき」という委員会への報告に対し、賛成・反対の討論をしています。

反対 渡辺 久治議員
総務文教委員長として、

趣旨採択の経緯を説明したが、個人としては採択すべきと考える。

今、この活動に取り組んでいる保護団体の方々の状況は切迫している。社会の状況をみても犬や猫との共存が叫ばれており、それらを飼っている人間の責任として、行政が何らかのサポートをすべきという世論は、今後ますます高まっていくと思う。

先進的な周りの市町村の取り組み方も参考にしながら、阿久根市にも、今、取り組んでいただきたい。

反対 竹之内和満議員

地域猫活動の基本、TNR活動は、捕獲し、不妊・去勢手術を施し、元のテリトリーへ戻すことで、飼い主のいない猫の繁殖を抑え、自然淘汰で数を減らすことを目的としており、殺処分ゼロを実現する最も有効な手段である。

財団法人どうぶつ基金がさくらねこ無料不妊手術事業を行っており、行政で阿久根市も参加しているが、地域猫の数を減らしていくにはこの事業だけではどうにもならない。

出水市、長島町の議会でも一般質問で地域猫の問題を取り上げており、地域猫問題は避けて通れない。

この活動に対する行政からの支援をお願いしたい。採択することにより、この問題に本気で取り組むことになる。

反対 白石 純一議員

趣旨採択とすべきとされた主な根拠として、予算措置、財源も考えなければならぬとのことだが、予算措置を検討するのは、基本的には執行部の役割。予算措置の実効性を理由として請願を審査することは、これまでの請願

同様の施策が実施されていることを見ると、予算措置に大きな困難を伴うものとは考えられない。執行部の予算措置を期待し、採択すべきと考える。

反対 竹原 信一議員

阿久根市は野良猫の問題に実効的に取り組むべきである。野良猫の去勢効果はすぐに表れる。公衆衛生と精神衛生上も効果が高い。

数少ないボランティアへの補助金であるから、いちごっこになっていく鹿やイノシシ駆除にかけるお金と比べても大した金額にならないの明らか。

採択とすることがボランティアと市民生活に対する議会の責任と誠意ではないか。

反対 大田 基次議員

猫によって迷惑を受けている人、捨て猫でも生きているのだから何とかしてあげたいと思う人、様々な人がいると思うが、地域猫活動に対しては県

も手引きを策定し、活動を推進している。市も、捕獲器の購入やチケットによる助成をしているが、これだけでは不十分だと思う。

野良猫の数を適正に抑えることで、騒音や汚染、感染症のリスクが減り、市民生活が改善される。去勢手術は、そのための効果的な方法である。

この機会にこのような活動が広がっていくような額は少なくとも、できる範囲で手を差し伸べながら、周知徹底を図っていけばいい。採択すべきと思う。

反対 川畑 二美議員

総務文教委員会では趣旨採択すべきとしたが、採択すべきである。

阿久根市でも多くの地域猫があり、増えて困っていると話される方々がいた。家の床下に地域猫が入り込んで仔猫が増えているという話もあった。阿久根市でも、動物病院と協力体制をつくり、

地域猫活動の実施団体を募集するなど、市の広報を使って努めてほしい。

住民の理解を得た上で、少しでも多くの地域猫が不妊手術できるように行政でも支援すべきだと思う。

人と猫とが共存する地域づくりをしてもらいたい。



○海の家の事業活動時間に関する陳情

本件は「不採択とすべき」という委員会の報告に対し、賛成・反対の討論をしていますが、

反対 白石 純一議員

項目1にある厳格に守る旨との表現に違和感を覚えたとの声もあったが、覚書の合意内容はそもそも厳格に守るもの。仮に運用上、閉場時間の客の

退出が1分1秒遅れたからとして争うことは非効率であることは、当事者も理解されていると考え

る。項目2の時間については、各署名者が合意してきていたことであり、開場時間を変更する合理性はない。

開場時間は、市が施行規則で定めたものであるが、議会での答弁と齟齬があり、混乱を招いた責任の一端があるとも言え、海の家事業者が不合理に犠牲を強いられるべきではない。

項目3、当初の合意書が、市と地元の自治区、海の家事業者の三者間で結ばれるべきものであったことに鑑み、その三者での締結を進めるべきである。

現時点では、当初、三者の覚書締結を進めるべきであり、項目3については、採択の必要性及び緊急性は、当初の三者覚書締結に比べ相対的に低いものと考え、項目1のみを採択する一部採択と

すべきである。

賛成 竹原 信一議員

市役所は陳情者のNPO法人代表に、南側駐車場の鍵を開け閉めする等の経費として令和4年度に209万円、5年度に155万円を支払う契約をしているが、北側駐車場にはそのような費用を払っていない。

市は議会への条例案説明の際に海の家の営業時間は午後8時までと説明しながら、施行規則は夕方5時まで、延長は市長の特例とした。

脇本海岸は議会と市役所の在り方で観光の目玉になるはず。脇本海岸を私物化し、衰退を招く陳情は不採択とすべきである。

反対 濱田 洋一議員

下村区周辺の海岸は、ウミガメが上陸、産卵し、シロチドリが生息する自然豊かな場所、これらを含めた快適さから、海水浴客を初め多くの観光客が訪れており、たからのまち阿久根の宝の一つである。

この財産を宝として維持するためには、自然環境保護と、観光振興の両立が必要不可欠である。地域住民と海の家の事業者等が、共通認識と意思統一を図り、相互に協力することが最も大事である。

市は、条例・施行規則について、関係者に対してその解釈や運用方針などを示す必要があり、守るべき具体的な事項について共通理解が図られるよう努め、市が主導して関係者と協議を行い、それを記録し、両者その内容を承諾したことを明示し、文章を相互に保有することが大切である。

陳情事項1について採択とする一部採択とすべきである。



各議員が市政を問う

一般質問

令和5年第2回定例会では、10名の議員が一般質問を行いました。

- 1 濱田 洋一 議員「西回り自動車道」
- 2 竹之内和満 議員「一体的な観光」
- 3 渡辺 久治 議員「東シナ海の再生」
- 4 白石 純一 議員「太陽光市出資」
- 5 大田 基次 議員「旧保留地価格」
- 6 川原 慎一 議員「教育行政」
- 7 竹原 信一 議員「市役所の体質」
- 8 大野 雅子 議員「子育て支援」
- 9 山田 勝 議員「寺島記念館」
- 10 川畑 二美 議員「住み良いまち」

掲載内容については、それぞれの議員が行った一般質問の主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者がまとめ、広報広聴委員会が編集したものです。

一般質問動画の視聴はこちら

議員写真の左下にある二次元コードをスマートフォン等で読み取ると、各議員の一般質問をYouTubeで視聴できます。

視聴の際はデータ通信料が発生する場合がありますので御了承ください。

阿久根川内道路の見通しは

用地幅杭設置の説明会予定

濱田 洋一 議員

西回り自動車道

濱田 南九州西回り自動車道の整備の進捗状況は、

市長 現在整備中の区間に係る今年度の事業費は、芦北出水道路で熊本県側が33億6,300万円、鹿児島県側が45億2,700万円である。また、阿久根川内道路の整備区間約22.4kmは、26億円の事業費が予算化されており、阿久根インターチェンジから(仮称)西目インターチェンジまでの区間、(仮称)湯田西方インターチェンジから薩摩水引インターチェンジまでの区間において、現在



動画視聴



チェンジまでの設計協議や国による用地幅杭設置が予定されており、そのための地元説明会開催が見込まれる。

【その他の質問】

- ・危機管理、防災減災対策
- ・自然災害に対し行政が行う情報収集及び体制整備と関係機関との連携
- ・自主防災組織との連携
- ・学校規模の適正化及び学校再編と今後の方向性



九州南西部の地域経済の発展、物流の高速化、大規模災害時の広域避難道路として期待する

根本的な全体構想の作成を

持続・計画的な取組を進める

竹之内 和満 議員

一体的な観光

竹之内 一体的な観光まちづくりを行うことができるブランドデザインが必要ではないか。

市長 たからのまちマネージャーを活用し観光戦略を検討する中で、ブランドデザインになるような方向性を示されることを活用しながら進める。

や特性を引き出しオンラインワンの観光資源になる。歴史資源マップや歴史をテーマにした観光周遊ルートを作成したらどうか。

商工観光課長 多くの歴史資源が点在していることから、効果的な情報発信を含め今後検討していきたい。



動画視聴



歴史資源を活かした観光のひとつ、寺島宗則記念館。阿久根市には他にも様々な歴史的な遺物がある。それらを結びつけて面としての観光情報の発信をしたらどうか。

商工観光課長 差別化を意識したPRは重要な観点なので意見を踏まえて研究を進めたい。

たからのまちマネージャー事業について

竹之内 たからのまちマネージャー事業は、6分野で何を行うものか。

市長 阿久根市の課題を抽出するなかで、マネージャーに助言をいただきながら、今後5年・10年先の阿久根市にとって良い方向に持っていきけるように取り組むものである。

阿久根から提言しては

国会議員への相談も必要だ

渡辺 久治 議員

東シナ海の再生

渡辺 日本と世界を比較すると、欧米では持続可能な性を重視した管理下での漁業が定着しているが、日本の水揚げ量低迷の根本的な原因は、乱獲ではないか。

市長 乱獲も大きな一つの要因と考えるが、日本以外の乱獲もある。海洋環境の変化ということもあり、低迷の要因を挙げ



動画視聴



ることはなかなか難しいと考える。

渡辺 今後の日本のエネルギー政策は洋上風力発電を重視すると思うが、持続可能性を重視した今後の漁業への移行に向けて、休業補償等に関連付けて考えることをどう思うか。

市長 洋上風力発電が、ある意味では水産資源の乱獲を抑えるのではとの考えの漁業者もいる。まず、事業者から世界の状況等の情報を漁業者に提案していただくなど、醸

成を図るのが大事な。

渡辺 この壊滅的な漁業の状況を鑑みて、近隣の漁協と連携し、阿久根から県や国へ提言する方向性を探ってみてはどうか。

市長 大きな話であり阿久根市だけで何かできると思っていない。やるのであれば、これは国の問題ということもあるので、国会議員への相談も必要であると思うが、まずは阿久根市として、地元でできることを精いっぱい取り組んでいく。



寄附 20人1億3千万
感想は

非常にありがたい

白石 純一 議員

太陽光市出資

白石 太陽光発電事業への活用を対象とする寄附募集の成果は。

市長 20人、1億3千万円の寄附実績である。

白石 トラストバンク事業への投資の寄附を、同社のふるさと納税サイトのみで募集したことは、コンプライアンス的に問題ないか。

福島副市長 問題があったというふうには考えていない。

市長 この寄附額にどのような感想を持つか。非常にありがたい。



出生率が低い理由は

白石 当市と近隣の合計特殊出生率と差の理由は。

市長 当市1.71、出水市1.92、長島町2.20。差異については調査していない。

給食費追加補助の考えは

白石 国交付金で2・3学期行われる給食費の半額補助を、1学期に廻り



空家改修事業なぜやめた

白石 空き家改修事業を今年度実施しない理由は。

市長 3年間の事業期間終了に伴い終了した。

原発県説明会、市民に周知しない理由は

白石 長島町、出水市が住民に周知する中、なぜ当市だけやらないのか。

市長 県の開催なので、県がやられるという認識である。

市基金で追加する考えは。財源負担上難しい。

| 氏名 | 郵便番号 | 届出金額 | 住所 | 寄附金額 | 寄附日(入金日) |
|----|------|------|----|-----------|------------|
| 1 | | 東京都 | | 1,225,000 | 2022/12/26 |
| 2 | | 東京都 | | 5,000,000 | 2022/12/25 |
| 3 | | 東京都 | | 2,000,000 | 2022/12/25 |
| 4 | | 東京都 | | 5,000,000 | 2022/12/25 |
| 5 | | 東京都 | | 5,750,001 | 2022/12/25 |
| 6 | | 東京都 | | 5,000 | 2022/12/25 |
| 7 | | 東京都 | | 5,000 | 2022/12/25 |
| 8 | | 東京都 | | 5,000,000 | 2022/12/25 |
| 9 | | 東京都 | | 5,000,000 | 2022/12/25 |
| 10 | | 東京都 | | 5,000,000 | 2022/12/25 |
| 11 | | 東京都 | | 5,000,000 | 2022/12/25 |
| 12 | | 東京都 | | 5,000,000 | 2022/12/25 |
| 13 | | 東京都 | | 5,000,000 | 2022/12/25 |
| 14 | | 東京都 | | 5,000,000 | 2022/12/25 |
| 15 | | 東京都 | | 5,000,000 | 2022/12/25 |
| 16 | | 東京都 | | 2,000,000 | 2022/12/25 |
| 17 | | 東京都 | | 5,000,000 | 2022/12/25 |
| 18 | | 東京都 | | 5,000,000 | 2022/12/25 |
| 19 | | 東京都 | | 5,000,000 | 2022/12/25 |
| 20 | | 東京都 | | 15,000 | 2022/12/26 |

太陽光発電への市出資目的の寄附募集に、1週間で東京の20個人から1億3千万円が寄せられた。

公売価格の見直しは

価格の見直しなど行う

大田 基次 議員

旧保留地価格

大田 旧保留地の公売について、市が設定している価格は実勢価格と乖離していると思うが、価格を見直す考えはないか。

市長 これまで購入された方々のことも配慮しながら、不動産鑑定を行ったり、宅建協会等関係する方々にもご意見を伺って土地価格の見直しを進めています。

市営住宅の入居待ちは

大田 市営住宅の修理工事の期間中などにおいて、入居待ちとなっている方



に情報提供やサポートを行っているか。

市長 電話等で問合せがあった際に情報提供している。

学校給食費の無償化は

大田 学校給食費の無償化の必要性について、どのように考えているか。



教育長 県内でも多くの自治体が国等の補助を受けることなく単独事業として何らかの支援策を講じており、それらを総合的に勘案し補助の在り方を検討していく。

市長 財源の確保が大事であり議論していく。ふるさと納税を充てるのが一番だと思うが、ふるさと納税で稼ぐため、携わる方々に子供の活動の支援になるからと側面的にお願いしながら予算の確保につなげていきたい。



公売中の旧保留地

特色ある教育について

学力向上に成果を上げる

川原 慎一 議員

教育行政

川原 本市の特色ある教育活動について、これまでどのようなことに取り組みましたか。

教育長 確かな学力の育成については、市小・中・高学力向上推進協議会を年4回開催し、各校種で授業参観や授業研究等を実施するとともに、共通実践事項を確認し、各学校で実施している。各学



校は、各種の学力調査の結果分析等を行い、授業改善に反映させている。本年1月に実施された鹿児島学習定着度調査の結果においても、小・中学校ともに取り組みの成果が確実に表れている。

川原 英語教育についてはどのように取り組まれているか。

教育長 中学校の英語科教員が全小学校の3年生から6年生に授業を行い、英語力の向上を図っている。小学校の初めは聞く、話すの音声を中心として授業を行うなどし、学年が上がるにつれ中学校の授業に近づく形としている。特に英語は、小学校

からの授業が大切である。**川原** 小中一貫教育はどのように取り組むのか。

教育長 令和6年4月から折多小・脇本小・三笠中に小中一貫教育を導入するが、本年4月から試行を開始している。学習面で脇本小の教員が中学校の技術科の授業を、三笠中の音楽科教員が脇本小の音楽の授業を担当する。また、脇本小の教員が折多小の6年生の算数の授業も担当する。

【その他の質問】

- ・不登校の児童・生徒について
- ・教職員の働き方改革について



動画視聴



紛失絵画の公開捜査は

広報は使わない

竹原 信一 議員

市役所の体質

竹原 市は寄附された高田一夫の「ヒナジョ踊」版画を紛失させた。この事実を公開すらしていない。寄附者に対する市の対応は無責任かつ非常に敵対的であり、職員が盗んだと疑われている。なぜ公開して探さないのか。

教育長 職員・市民が持ち帰ったとは考えていない。関係者から市報への



職員が紛失した「ヒナジョ踊」高田一夫 作

掲載の要望もあったが、広報は事業の周知をはかるものであるから掲載していない。

家屋解体後の固定資産税

竹原 税務課は家屋解体後5年間の宅地課税が市長の命令であると言ったが、関係文書がないのがばれども返金しない。誰が決めたのか。

税務課長 市として運用していた。

市長 誰が決めたのか。お答えできない。

マイナンバー返納

竹原 マイナンバーカードは事故が起こって返納が進んでいる。データが中国に盗まれている危険性を理解しているか。

市民環境課長 中国への情報漏洩は承知していない。

竹原 知らないで済む話ではない。返納できることを広報すべきでは。

副市長 高齢者にも理解できる啓発の形を検討する。



動画視聴



子ども医療費 窓口負担ゼロに

県への要望を続ける

大野 雅子 議員

子育て支援

大野 子ども医療費助成制度を自己負担分を窓口で支払い、後から返還される方式から、窓口負担ゼロ方式に変えることはできないか。

市長 県の助成事業の対象外となり市の負担が増える。また、医療機関や審査支払機関との調整など新たな枠組みが必要となり市単独で実施することは困難である。

大野 住民税課税世帯の未就学児で、医療費をいったん窓口で支払い、後で還付する自動償還払い方式をとっている都道



動画視聴

府県はいくつあるか。

福祉課長 鹿児島県のみである。

市長 鹿児島県が窓口負担なしになるよう知事にも訴えていく。

学校給食費支援について

大野 食品の値上がりで給食の質は落ちていないか。



【その他の質問】

- ・ 廃校校舎の利活用
- ・ 生理の貧困
- ・ かがしま国体

教育長 調理方法を工夫するなどして、栄養価を落とすことなく安心・安全でおいしい給食を提供している。

大野 給食の品数は減っていないか。

学校給食センター所長 デザート類は減っている。前の提供状況にするためには、今後、給食費の値上げ等も考えざるを得ない状況である。

前所有者の物はないか

仏壇などが置いてある

山田 勝 議員

寺島記念館

山田 土地、建物の所有権は、阿久根市に移転されているのか。

市長 売買契約を締結している。

山田 前所有者の所有物が残っていないのか。

市長 前所有者からの要望で、仏壇などが保管されている。

山田 前所有者は、寺島邸の近くに自宅を作られている。仏壇はその自宅に移されるべきではないか。

市長 記念館内の仏壇等は土地・建物の売買契約のときに前所有者からの



動画視聴

要望を受け保管している状況である。個人の所有物を置くことに厳しい意見を持たれている市民もいると思う。

山田 江戸末期から明治の初期、西洋列国との不平等条約を改正され、日本を西洋列国並みの取引ができるようにされた寺島宗則卿の顔に泥を塗るようなことではいけない。寺島記念館にかかった

建設費、財源は。

市長 土地購入費を含めて1億4,000万円。財源は、ふるさと納税寄付金3,043万円、一般財源2,236万円、地方債6,540万円、国費1,663万円、県費259万円。

青果市場跡地活用

山田 青果市場跡地を利用した取り組みの進捗状況は。

市長 当初予算に具体的な整備・活用に向けた整理や検討を進めるための予算を計上した。



寺島宗則記念館

便利で安心して住めるには

要望、検討する

川畑 二美 議員

住み良いまち

川畑 高齢者福祉タクシー利用助成事業の拡充はできないか。

市長 令和5年度から市民税非課税世帯以外の方についても対象とし、制度の拡充を図っている。
川畑 補聴器購入の助成はできないか。

市長 制度の創設について全国市長会等から国に対して提言や要望がな



動画視聴



れており、注視していきたい。

川畑 公共施設のバリアフリー化ができないか。

教育長 今後大規模改修が必要になった場合には検討していく課題である。

川畑 市内を循環するバスの運行ができないか。
市長 地域公共交通計画を策定する中で検討する。

子育て支援について

川畑 学校給食費を無償化にする考えはないか。

教育長 国では、こども未来戦略方針を策定し、学校給食の無償化に向け実態調査を行い、今後具体的な方策を検討するこ

とから、今後、本市での補助の在り方について検討していきたいと考えている。

川畑 物価高騰の中、2学期、3学期は半額補助するが、来年度以降も引き続き補助するのか。

市長 国でも検討されている。本市でも今後検討していきたい。

【その他の質問】

- ・ 水俣病被害者の救済について
- ・ 川内原発20年運転延長について
- ・ 子ども医療費の病院での窓口負担なしについて

議会を知ろう～議会の基礎知識～



◆ 本会議とは何ですか。

- 本会議は、議員が議場に集まって行う会議です。
ここで、市長や議員から提出された議案などについて審議し、議会として最終的な意思決定を行います。

◆ 一般質問とは何ですか。

- 議案に関係なく、市の行政全般について、市長や教育委員会等の執行機関に対して見解などを問う質問です。
阿久根市では、年4回の定例会を開催する際に実施しています。

阿久根市ホームページの【行政情報 > 議会】から議会に関する情報を御確認いただけます。

令和5年第2回定例会 議案・審議・議決結果

| 議案等番号 | 内容 | 議員名 (議席番号順) | | | | | | | | | | | | | | 議決結果 |
|-------------------|---|-------------|-------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-----|------|-------|------|
| | | 高崎良二 | 竹之内和満 | 大野雅子 | 渡辺久治 | 川畑二美 | 白石純一 | 川原慎一 | 竹原信一 | 大田基次 | 牟田学 | 木下孝行 | 山田勝 | 濱田洋一 | 仮屋園一徳 | |
| 議第45 ～ 議第56 | 農業委員会の委員の任命 | * | * | * | * | * | * | * | * | * | * | * | * | * | - | 同意 |
| 議第57 | 市税条例の一部改正 | * | * | * | * | * | * | * | * | * | * | * | * | * | 可決 | |
| 議第58 | 放課後児童健全育成事業に関する基準を定める条例及び家庭的保育事業等の基準を定める条例の一部改正 | * | * | * | * | * | * | * | * | * | * | * | * | - | 可決 | |
| 議第59 | 一般会計補正予算 (第3号) | ◇ | ◇ | ◇ | ◇ | ◆ | ◇ | ◇ | ◆ | ◇ | ◇ | ◇ | ◇ | - | 可決 | |
| 議第60 | 国民健康保険特別会計補正予算 (第1号) | * | * | * | * | * | * | * | * | * | * | * | * | - | 可決 | |
| 請第1 | 地域猫活動に対する支援に関する請願 | ◇ | ◇ | ◇ | ◇ | ◇ | ◇ | ◆ | ◇ | ◇ | ◇ | ◆ | ◆ | - | 採択 | |
| 陳第4 | 少人数学級等の改善に関する陳情 | * | * | * | * | * | * | * | * | * | * | * | * | - | 採択 | |
| 陳第5 | 海の家事業活動時間に関する陳情 | - | ◆ | - | - | ◆ | △ | ◆ | ◆ | ◆ | - | ◆ | ◆ | △ | - | 不採択 |
| 意第1 | 少人数学級及び教職員定数の改善並びに義務教育費国庫負担制度の拡充を求める意見書 | * | * | * | * | * | * | * | * | * | * | * | * | - | 可決 | |

【表の見方】 議：議案 請：請願 陳：陳情 意：意見書 *：全会一致 ◇：賛成 ◆：反対 -：表決権なし
 ・仮屋園一徳議員は議長職のため議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。
 ・陳情第5号に関して、△の議員は、一部採択に賛成で、採択には反対でした。

9月定例会の予定

- 9月 8日 本会議 (提案説明・質疑)
- 13日 本会議 (一般質問)
- 14日 本会議 (一般質問)
- 15日 委員会 (予算・議案等)
- 19日 委員会 (予算・議案等)
- 27日 本会議 (審査報告・表決)

※変更になる場合があります。

議会を傍聴してみませんか



議会中継はこちらを読み取ってください。 →



過去の中継録画はこちらを読み取ってください。 →



市議会は、市の予算や施策について話し合い、決定する大切な場所です。グループ活動や学習の機会にぜひ傍聴にお越しください。

来られない方は、市ホームページ内、市議会ページの議会中継、中継録画をご利用ください。

※ 3階の車椅子傍聴席も利用していただけます。なお、一般傍聴席は4階です。

委員から一言

6月議会で、ある議案に6議員の討論がありました。その議案の議決結果は、委員会の結論と異なるものでした。いずれも、当市議会ではここ数年であり見られなかったことです。

定員1減となり、新人議員が14議席中5議席を占め、顔ぶれも変わりました。委員会審査で市長に出席を求めたのも、予算委員会以外ではまれなこと

です。5月の臨時議会では、議長・副議長立候補者の所信表明も、それまでの議員控室から議場に移され、市民が見聞きできるようにになりました。変わりがつつある議会へ傍聴にもお越しください。(副委員長 白石 純一)

| | |
|------|---------|
| 発行 | 阿久根市議会 |
| 作成者 | 広報広聴委員会 |
| 委員長 | 川原 慎一 |
| 副委員長 | 白石 純一 |
| 委員 | 高崎 良二 |
| 委員 | 大野 雅子 |
| 委員 | 川畑 二美 |
| 委員 | 竹原 信一 |